

# 令和 design talk デザイントーク

テーマ

## 幼稚園教育の現状と課題

第4回目となる令和デザイントークは、本市内で幼稚園を運営されている4人の代表者の方と意見交換を行いました。



**令和デザイントークとは…**  
広く市民の声を聴くために開催される新しい市民との対話の場とし、次期総合計画への反映と市職員の人材育成・政策形成能力の向上などさまざまな分野への波及効果を目的としています。

### 第4回トーク概要

- 開催日／7月14日(水)
- 開催場所／市役所本庁 応接室
- テーマ／幼稚園教育の現状と課題
- 出席者／
  - 青山幼稚園 理事長 島谷精利氏
  - 純心幼稚園 園長 浦田むつ子氏
  - せんだい幼稚園 園長 田原慎也氏
  - のぞみ幼稚園 副園長 戸田奈都子氏
  - 薩摩川内市 田中市長
  - 上大迫教育部長
  - 柳崎学校教育課専門員

### ご意見

- ・ 一時預かりなど、教育のニーズは多様化しており、受け皿として、人材確保と体制の維持が課題である。
- ・ 保育園・幼稚園から小学校の教育課程へ着実につなげるためには、幼・保・小の相互理解や認識の共有、連携の仕組み作りが必要である。
- ・ 幼児教育に取り組むにあたり、市が全体を見て、コーディネートするような場や仕組み作りが必要である。
- ・ 地域の身近なものに触れたり、地域の方々も関わってもらったりするような、幼児教育の実践が求められている。

幼稚園教育現場の意見を直接聞いた田中市長は、「引き続き人材の確保が課題であると認識するとともに、幼・保・小の連携は重要な課題と考えています。市立幼稚園の園児も減少している状況にありますが、質の高い幼児教育を実践するため、今後も率直な意見を伺いたいと考えています」などと述べ、第4回のデザイントークは終了しました。

### 広聴・新ビジョン調査

### 第4回デザイントーク

運営担当 二木  
紙面担当 中島

これからも私たち「広聴・新ビジョン調査プロジェクトチーム」は、広く市民の皆さまの声を聴くため、さまざまな職種の方との対話の場を設けるなど「開かれた市政」を目指すべく、活動してまいります。



# 令和

reiwa design talk

## デザイントーク

### テーマ

## 農業の担い手の育成・確保

今回は、本市内で農業経営をされている若手農業者4人と「農業の担い手の育成・確保」をテーマにして意見交換をしました。



### 令和デザイントークとは…

広く市民の声を聴くために開催される新しい市民との対話の場とし、次期総合計画への反映と市職員の人材育成・政策形成能力の向上などさまざまな分野への波及効果を目的としています。



### 第5回トーク要旨

開催日／令和3年11月11日(木)

開催場所／本庁 市長応接室

出席者／

花き農家 須賀剛士氏

果樹工芸農家 水流和彦氏

野菜農家 中村一郎氏

工芸農家 笹野千津子氏

○薩摩川内市

・田中市長

・中山農林水産部長

・三島農政課宮農指導グループ員

### ご意見

● 高齢化や人材不足による雇用確保が大きな問題。各農家の農繁期と農閑期で連携・補完し合える仕組みがほしい。

● 特産品の積極的なPRや情報発信など、販路拡大に繋がるような市のバックアップを。

● 女性農業者が気軽に集まって意見を言える情報交換の場を作りたい。

● 市と農家が情報共有しながら連携できるよう、専門職員の配置や継続性のある職員体制が理想。

● 活用しやすい各種補助制度への見直しを。

● 子どもたちに地元の農業を知ってもらうため、農業に触れる機会が必要。

若手農業者のご意見を直接お聴きした田中市長は、「皆さまの取り組みが今回のテーマそのものを具体化されており、非常に頼もしく感じた。人材確保は業界全体の課題であり、後継者のみならず、働き手の確保に苦慮している状況とお聞きしたので、ぜひ令和2年度からスタートした『薩摩川内市農業サポーター人材バンク』を活用していただきたい。

また、職員の技術指導や販路開拓につながる積極的な情報発信、活用しやすい補助事業などの在り方など、農業経営を継続していただける支援体制の充実について関係部署で調整していくと述べ、第5回の令和デザイントークは終了しました。

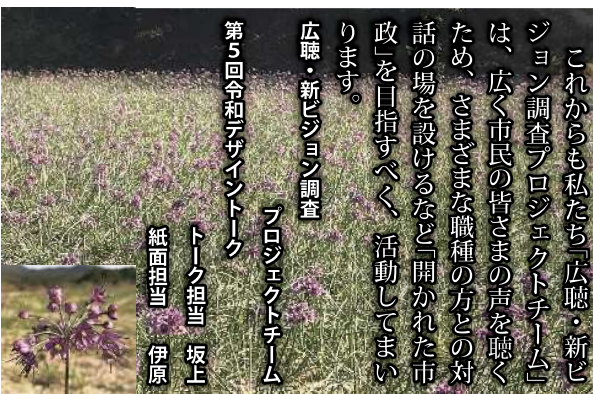
これからも私たち「広聴・新ビジョン調査プロジェクトチーム」は、広く市民の皆さまの声を聴くため、さまざまな職種の方との対話の場を設けるなど「開かれた市政」を目指すべく、活動してまいります。

広聴・新ビジョン調査

プロジェクトチーム

トーク担当 坂上

紙面担当 伊原



「らっきょうの花」

# 令和

reiwā design talk

## デザイントーク

### 令和デザイントークとは…

広く市民の声を聴くために開催される新しい市民との対話の場とし、次期総合計画への反映と市職員の人材育成・政策形成能力の向上などさまざまな分野への波及効果を目的としています。

## テーマ

### 地元企業の担い手確保

今回は、本市隈之城町にある学校法人川島学園れいめい高等学校の進路指導の先生、普通科・工学科の生徒と「地元企業の担い手確保」をテーマにして意見交換をしました。



### 第6回トーク要旨

開催日／令和3年12月24日(金)  
開催場所／  
学校法人川島学園れいめい高等学校

#### 出席者

- 学校法人川島学園れいめい高等学校
  - ・進路指導部長 門松経太先生(普通科担当)
  - ・進路指導部 平 剛生先生(工学科担当)
  - ・普通科生徒 春日 惇さん(3年生)
  - ・馬場遥奈さん(2年生)
  - ・古賀龍翔さん(2年生)
  - ・久徳 翼さん(2年生)
- 薩摩川内市
  - ・田中市長
  - ・久保建設部長
  - ・家村建築住宅課グループ員(同高卒)
  - ・薬師寺総務課グループ員(同高卒)
- ・工学科生徒 久徳 翼さん(2年生)

#### ご意見

- 市内企業情報は進路指導担当教諭で把握しているが、生徒にダイレクトには届いていない。直接、企業と子どもたちを結びつける何かがあるといい。
- 一方で、企業情報が多すぎて何を基準に選ぶべきか判断に迷う生徒もいる。
- 工学科生徒は若手育成プロジェクトなどで企業と直接接しており、「将来何をしたいか」について具体的イメージを持っている。
- 公務員試験は通常の学校の勉強とは別に勉強しなければならない。
- 本市内には遊べる場所、みんなが集い息抜きができる場所が少ない(遊技施設やカフェなど)。

先生・生徒のご意見を直接お聴きした田中市長は、「市役所を含めた地元企業の情報が生徒に届いていないことがよく分かった。来年度以降も高校生の皆さんに対する合同企業説明会はずっと開催していく。加えて、中学生に対しても、市内企業の情報提供の場というものを来年度以降、確実に作っていきたい。市採用試験についても、求める人材とその試験内容、試験回数、時期の検討をしたい。

また、魅力あるまちづくりとして、皆さんが集いながら遊べ、賑わいができるようなイベントをコロナ後の克服の中でやっていきたい」などと述べ、第6回の令和デザイントークは終了しました。

これからも私たち「広聴・新ビジョン調査プロジェクトチーム」は、広く市民の皆さまの声を聴くため、さまざまな職種の方との対話の場を設けるなど「開かれた市政」を目指すべく、活動してまいります。

#### 広聴・新ビジョン調査

プロジェクトチーム

トーク担当 鮫島  
紙面担当 伏見